

クラシック音楽の「今」を牽引する
作曲家カイヤ・サーリアホ。
まもなく日本初演される
オペラ『Only the Sound Remains』を自ら解説—
また、異彩を放つ作品の中から
フルートとカンテレの小品を紹介します。

ワークショップ 「カイヤ・サーリアホが 描く音風景」

Workshop
“Soundscapes of Kaija SAARIAHO”

2021年6月1日(火) 18:30開演(18:00開場) Tue, Jun 1, 2021 18:30 (Open 18:00)
(令和3年)

東京文化会館 小ホール Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

第1部 First Part (約30分程度)

サーリアホ作品を熟知した奏者による
フルートとカンテレ(フィンランドの伝統楽器)のコンサート

Flute and Kantele Concert performed by
the experts in SAARIAHO's works

〈出演〉 Artists

カミラ・ホイテング (フルート)
Flute: Camilla HOITENGA

エイヤ・カンカーランタ (カンテレ)
Kantele: Eija KANKAANRANTA

©Maarti Kyöharju



カミラ・ホイテング

エイヤ・カンカーランタ

〈プログラム〉 Program

サーリアホ：ドルチェ・トルメント (ピッコロソロ)
SAARIAHO: Dolce Tormento (2004)

サーリアホ：ライト・スティル・アンド・ムービング (フルート、カンテレ) 他
SAARIAHO: Light Still and Moving (2016)

第2部 Second Part (約60分程度予定)

オペラ「Only the Sound Remains」についての解説

(作曲家、指揮者、演出家、奏者による対談形式 ※日本語通訳付)

About the opera "Only the Sound Remains"

(Panel discussion with the composer, conductor, director, and the performer)

〈出演〉 Panelists

カイヤ・サーリアホ (作曲家) Kaija SAARIAHO (Composer)

クレマン・マオ・タカス (指揮者) Clément MAO-TAKACS (Conductor)

アレクシ・バリエール (演出家) Aleksis BARRIÈRE (Director)

カミラ・ホイテング (フルート) Camilla HOITENGA (Flute)

司会進行：柴辻純子 SHIBATSUJI Junko (Moderator)

※状況によって、作曲家はオンラインでの参加となります。

* Kaija SAARIAHO may join online depending on the circumstances.

料金 Prices

S席 2,200円

A席 1,650円

25歳以下 1,100円 (全席共通/要証明書)

S 2,200yen

A 1,650yen

Under-26s 1,100yen (The price applies to all seat categories. Valid ID required.)

発売日 On Sale Date

4月17日(土) Sat, Apr 17, 2021

チケットのお申込み Book Tickets

東京文化会館チケットサービス

03-5685-0650 t-bunka.jp

Tokyo Bunka Kaikan Box Office (Available in English)

※本公演は、東京都の「新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ」等に基づいた客席数のチケットを販売します。国や都などの方針等により、ご来場時に座席のご移動をお願いする場合がございます。

収容定員制限が緩和されている場合、(注釈付き)席を販売します。ただし、収容定員制限が強化された場合、(注釈付き)席は払戻しの対象となり、ご鑑賞いただけなくなります。予めご了承の上ご購入ください。

※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※託児サービス(要予約・有料・定員あり・5/25(火)17時締切)があります。イベント託児・マザーズ：0120-788-222

文化でつながる。未来とつながる。
THE FUTURE IS ART

TokyoTokyo
FESTIVAL

ARTS COUNCIL TOKYO

東京文化
会館
Tokyo Bunka Kaikan

60th Anniversary

フィンランドの現代作曲家カイヤ・サーリアホが5年ぶりに来日!
70歳を迎える今年、ヴェネツィア・ビエンナーレ音楽部門金獅子賞の受賞が決定し、
また7月には新作オペラの上演を控えるなど、改めて世界的に注目が集まっています。
 この機会にサーリアホが描く音風景を体験してみませんか。

カイヤ・サーリアホ (作曲家)

カイヤ・サーリアホは世界に大きなインパクトを与えているフィンランドを代表する作曲家のひとりである。IRCAM(フランス国立音響音楽研究所)でコンピューター支援作曲や録音及びライブエレクトロニクスを巧みに使いこなす技術を磨き、ここでの経験が緩やかに変化する高密度の音の集合体を強調した管弦楽曲の作曲へのアプローチに影響を与えた。その後、オペラを手がけ、2000年にザルツブルク音楽祭で初演を迎えた「遙かなる愛」は絶賛され、荣誉あるグロマイヤー賞を授与された。

近年様々な規模の作品を多く作っているが、どの作品にもサーリアホ独特の2つの特性が見られる。一つはアミン・マールフやピーター・セラーズのみならず、指揮者エサ=ペッカ・サロネン、フルート奏者カミラ・ホイテンガ、ソプラノのドーン・アップショウ等、アーティスト個人との密で創作的な関係を築くこと。もう一つは、作品の主題やテキスト及びスコアの豊富な発想記号でも見られるように、作品を抽象的なプロセスから生まれるものではなく、作曲家から聞き手に、考えやイメージ、感情を切実に伝える媒体であるべきだと捉えていることである。

2021年7月に新作オペラ「イノセンス」がエクサン・プロヴァンス音楽祭で世界初演予定。

カミラ・ホイテンガ (フルート)

アメリカ人フルート奏者カミラ・ホイテンガはオランダのガウデアムス国際現代音楽演奏コンクールで優勝し、伝説の作曲家カールハインツ・シュトックハウゼンの共同制作者としてヨーロッパの音楽業界入りを果たす。その後、長期に亘るカイヤ・サーリアホとのコラボレーションが始まり、その結果フルートのレパートリーが広がるだけでなく、多くの音楽賞を受賞し、大学で共同専任講師を務め、アムステルダム、ヘルシンキ、パリ、マドリッド、ニューヨークにてピーター・セラーズ演出のオペラ「オンリー・ザ・サウンド・リメイન્ズ」のピッコロ及びバスフルートのパートを担当。ホイテンガは日本文化に興味があり、度々訪日。一柳慧、細川俊夫や田嶋直士などの巨匠とコラボレーションしている。また、小林研一郎のコンチェルト「4 Chapters」をはじめ、稲盛安太己、菅野由弘、近藤春恵、桑原ゆう、志田笙子、嶋津武仁が作品を提供。

ホイテンガ自身はアレクサンダー・マレー、ピーター・ロイド、ジュリアス・ベイカー及びマルセル・モイーズに師事。ホイテンガはバーカート・ヨーロッパ・アーティスト・アンバサダーに任命。アルタスレーベル所属。古田土のバスフルート及びアントン・ブラウンのピッコロを演奏。

ウェブサイト: <http://www.hoitenga.com/>
 作品: <https://soundcloud.com/Camilla-Hoitenga>

エイヤ・カンカーランタ (カンテレ)

エイヤ・カンカーランタはフィンランドを代表するカンテレ奏者で、特に現代音楽及び即興演奏を得意とする。小林聡、成本理香、ユハニ・ヌオルヴァラ、カイヤ・サーリアホ、ユッカ・ティエンスー及びロッタ・ヴェンナコススキの作品を初披露。2009年にカンテレのクラシック奏者として初めてシペリウス音楽院で博士号を習得。2007年にソロCD「Griffyr-カンテレのための現代音楽」をリリース。ソリストとしてアヴァンティ室内管弦楽団、ポリ・シンフォニエッタ、ヨエンスー市管弦楽団、オランダ管楽アンサンブルと共演。

Music Program TOKYO

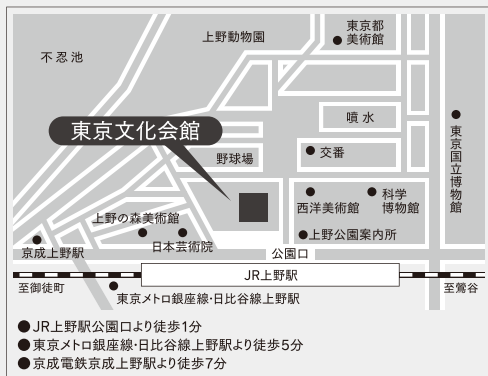
世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩な公演を実施する《Enjoy Concerts!》、海外の芸術機関や国内外の教育・社会福祉機関等と連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。

主催: 東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館・アーツカウンシル東京
 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
 文化庁 独立行政法人日本芸術文化振興会

お問い合わせ: 東京文化会館 事業係 03-3828-2111(代表) t-bunka.jp
 @tbunka_official



公演詳細はこちら



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用や検温など、ご理解とご協力をお願いしております。「東京文化会館へご来場される皆さまへのお知らせとお願い」をお読みの上、ご来場くださいますようお願いいたします。
t-bunka.jp/info/5673/



公演詳細はこちら

[関連公演情報]

東京文化会館 舞台芸術創造事業(国際共同制作)
 Tokyo Bunka Kaikan Performing Arts Creation Project,
 International Co-production

**カイヤ・サーリアホ オペラ
 『Only the Sound Remains
 -余韻-』(日本初演/新制作)**

Opera: Only the Sound Remains
 (Japan Premiere/New Production)
 [全2部/原語(英語)上演 日本語字幕付]
 予定上演時間: 約2時間(休憩1回含む)

**2021年6月6日(日) 15:00開演(14:15開場)
 (令和3年)
 東京文化会館 大ホール**

オペラ『Only the Sound Remains -余韻-』
 第1部: Always Strong
 第2部: Feather Mantle
 原作: 第1部 能「経正」 第2部 能「羽衣」
 台本: エズラ・パウンド、アーネスト・フェノロサ

指揮: クレマン・マオ・タカス
 演出・美術・衣裳・映像: アレクシ・バリエール

| 出演 |
 第1部 経正/第2部 天女:
 ミハウ・スワヴェツキ(カウンターテナー)
 第1部 行慶/第2部 白龍:
 ブライアン・マリー(バス・バリトン)

振付・ダンス(第1部・第2部): 森山開次

第1ヴァイオリン: 成田達輝*
 第2ヴァイオリン: 瀧村依里*
 ヴィオラ: 原 裕子*
 チェロ: 笹沼 樹*
 カンテレ: エイヤ・カンカーランタ
 フルード: カミラ・ホイテンガ
 打楽器: 神戸光徳
 (東京文化会館チェンバーオーケストラ)
 *東京音楽コンクール入賞者

コーラス: 新国立劇場合唱団
 ソプラノ: 渡邊仁美 アルト: 北村典子
 テノール: 長谷川 公 バス: 山本竜介

美術・照明・衣裳: エティエンヌ・エクスブライア
 音響: クリストフ・レブレトン
 舞台監督: 山田ゆか

| 料金 |
 S席13,200円 A席11,000円 B席8,800円
 C席6,600円 D席4,400円 E席2,200円
 シルバー(65歳以上): S席12,100円
 ハンディキャップ(介添え1名まで同一料金): S席11,550円
 25歳以下: A席3,300円
 ※各種割引チケットは、東京文化会館チケットサービスのみ取扱い。
 要証明書。
 ※団体割引(S~C席/10名以上)あり。
 詳細は東京文化会館チケットサービスまでお問い合わせください。
 ※本公演は、客席内にスピーカーを設置いたします。

| チケットのお申込み |
 東京文化会館チケットサービス
 03-5685-0650 ほか



公演詳細はこちら